

## 宇都宮市夜間休日救急診療所における 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

### ◎ 趣旨

宇都宮市夜間休日救急診療所における，新型コロナウイルス感染症への対応状況について報告するもの

### 1 夜間休日救急診療所の役割等

本市においては，夜間及び休日における応急診療を必要とする軽度の救急患者の医療を確保するため，宇都宮市夜間休日救急診療所を設置し，初期救急医療体制を構築している。

また，平成14年度から24時間診療体制に移行し，市医師会，市歯科医師会，市薬剤師会，大学病院等の全面的な協力により，診療体制を整え運営を行っている。

#### (1) 本市の救急医療提供体制について

本市の救急医療体制は，患者の重症度に応じて，初期，二次，三次救急医療の三段階に分けた体制をとっている。

段階	提供医療	医療機関
初期救急医療	比較的症状の軽い患者に対する救急医療	宇都宮市夜間休日救急診療所
二次救急医療	入院や手術を必要とする重症な患者に対する救急医療	病院群輪番制病院5病院 医療機関12医療機関
三次救急医療	命に関わる重篤な患者に対する救急医療	栃木県救命救急センター (済生会宇都宮病院内)

#### (2) 夜間休日救急診療所の概要

項目	体制
診療科目	内科・小児科・歯科
診療時間	休日昼間： 9時 ～ 17時 準 夜： 19時 ～ 24時 深 夜： 24時 ～翌朝7時 （歯科は24時まで）
診療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師及び歯科医師等の医療スタッフについては，休日昼間，準夜，深夜帯の3交代の体制で対応している。</li> <li>・ 深夜帯（主に小児科）については，県外の大学病院に協力依頼し，医師を確保し配置している状況である。</li> </ul>

## 2 新型コロナウイルス感染症への対応

### (1) これまでの対応

一般患者と発熱患者の接触を避けるため、仮設診療室（医療用コンテナ）を活用するなど、臨時的に屋外にて診療を実施してきた。

### (2) 今冬の対応・・・別紙

今冬においては、新型コロナウイルス感染症の第8波の到来や、インフルエンザとの同時流行により、夜間休日救急診療所に来所する患者の急増が懸念されたことから、安全・安心な診療体制を確保するとともに、患者急増時でも円滑かつ効率的に対応できるよう、プレハブやカーポート等を増設したドライブスルー方式による診療環境を整備した。

また、診療体制の更なる効率化を図るため、WEB問診（※1）を導入するとともに、速やかな診断に繋がるよう、効率的な検査である同時抗原検査（※2）を実施した。

※1 自宅等で予めオンラインで問診内容を送信し、来所時のスムーズな診察につなげるもの

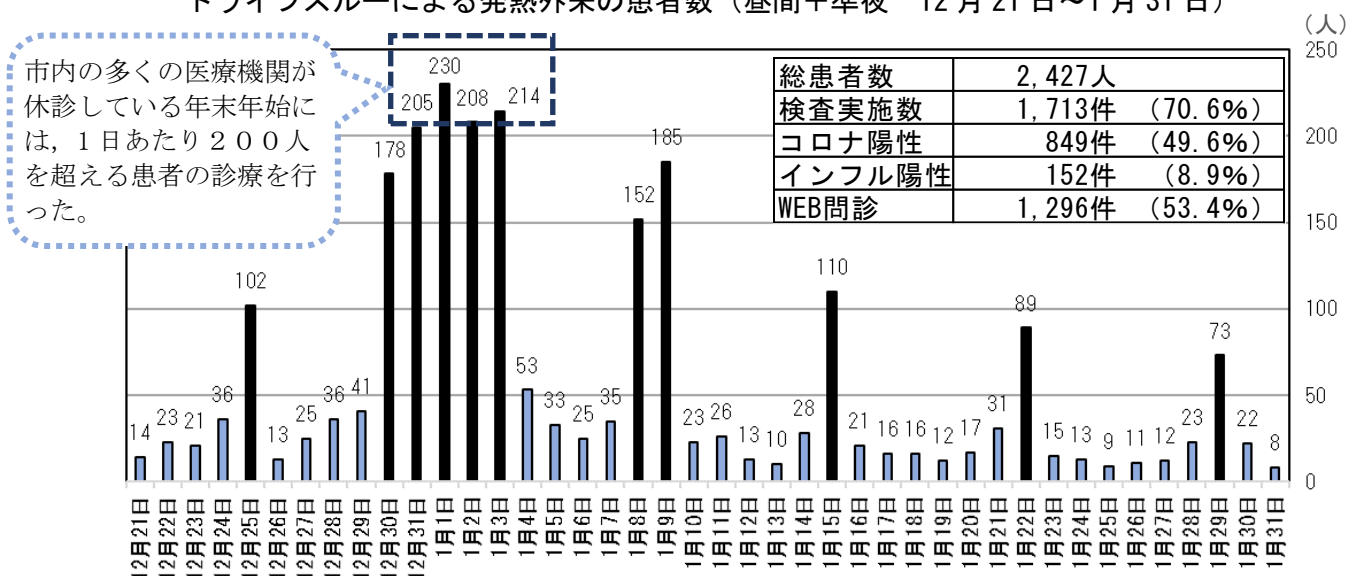
※2 新型コロナウイルスとインフルエンザを同時に検査可能なキットによる検査

#### ① 開設時期

令和4年12月21日～令和5年2月28日（予定）

#### ② 今冬の患者数（1月末時点）

ドライブスルーによる発熱外来の患者数（昼間+準夜 12月21日～1月31日）



#### ③ 年末年始（12/30～1/3）における昨年度との比較

	実績	(参考) 昨年度の実績
患者数	1,035人 (207人/日)	475人 (95人/日)
新型コロナウイルス陽性率	58.9% (453人/769人)	3.4% (5人/147人)
インフルエンザ陽性率	6.4% (49人/769人)	0% (0人/147人)

### (3) 今後の対応

新型コロナウイルスをはじめとした感染症に対し、夜間休日救急診療所において、市民が診療所内で安心して初期救急医療を受けられるよう、必要な診療環境を確保していくための施設改修に取り組む。

(1) ドライブスルー方式による診療の様子①



(2) ドライブスルー方式による診療の様子②



(3) 受付の様子



(4) 検査の様子

